



3年 盲導犬の学習

盲導犬は、目の不自由な方の生活を支える犬です。3年生は、国語で「盲導犬の訓練」という説明文を学習しました。そして、学習したことをさらに深めるために、宮本りかさんと盲導犬のフィットに来ていただきお話を聞きました。宮本さんは、学生の頃まで目が見えていたようですが、今は見えにくいそうです。そんな宮本さんを助けるためにフィットはいつも宮本さんのそばにいます。スーパーに行く時も、旅行に行く時も、仕事をしている時も、いつも一緒です。そんなフィットとの生活ですが、困ることもあるそうです。フィットは、信号の色がわかりません。車がどの方向に走っているかを宮本さんが音で判断し渡るそうです。そこで信号で止まっていたら、「今、青ですよ。」「今、赤なので渡れませんよ。」と、声をかけてほしいそうです。それ以外にも、困っていることや、町で出会ったらどんなふうに接してほしいのかなども話してくださいました。宮本さんの話を聞いたりフィットと出会ったりしたことは、子どもたちの学習をより深めることにつながりました。



幼保小交流会

2月23日(火)、くまのだ幼稚園・保育園、おひさま保育園を招いて2回目の交流会をしました。今回は、園児たちに入学期体験してもらい、学校の事を知ったり学校に慣れたりしてもらうことがねらいです。

11月の交流会ですっかり仲良くなった子どもたちは、手をつないで楽しそうに学校探検をしました。また、教室では、1年生が先生になって折り紙でおひな様を作りました。園児に分かりやすく教えている1年生の姿はとても頼もしく、この1年の成長を強く感じました。椅子にきちんと座って折り紙を折る園児たちも落ち着いて活動し、感心しました。入学前のこの体験は、学校への期待感を大きく膨らませることにつながったことと思います。

交流会が終わり、帰る園児たちを1年生全員で見送りました。園児たちは、「たのしかった!」と言って、一緒に折った折り紙を誇らしげに見せながら帰っていきました。1年生は、これから、入学式に行く歓迎の催しに取り組みます。どんな催しになるのか、今から楽しみです。



作品展



1年 すきなもののパフェ



2年 マシンに乗って夢の国へ



3年 サークルステンド



4年 面シーサー



5年 名画の世界へ



6年 思い出の小箱とわたし

今年度最後の授業参観・学級懇談会に併せて『作品展』を行いました。たくさんの保護者の皆様に鑑賞していただきました。ありがとうございました。これまでも、教室・廊下に日常的に作品展示を行ってききましたが、『作品展』として全校で行うことで、全学年が相互に鑑賞し合うことができました。どの学年の作品も子どもたちの思いがいっぱい詰まっていて力強さと個性を感じました。また、1年生から6年生まで、作品を通して子どもたちの成長を感じることができました。低学年の子どもたちは、高学年の作品を見て、「自分たちもあんなすごい作品を作りたい」と思ったことでしょう。互いのがんばりやすばらしさを認め合える作品展だったと思います。

5年 命の学習

五年生が、誕生学アドバイザーの並川メリーさんに来ていただき、命の学習をしました。

両親の愛情によって、始めは0.1mmの小さな小さな命が、10か月もの長い月日をかけて大切にお母さんのおなかの中で育てられ、誕生の瞬間を迎えます。「生まれてきてくれてありがとう!」と家族や多くの人を感動させた命。それがみんなの命です。小さな命は、衣食住を満たしていても声をかけたり、微笑んだり、抱きかかえたりするなどの愛情をかけなければ1歳の誕生日を迎えることができないといいます。みんなの命は、たくさんの人の愛情があってこそ守られた命です。どんなことがあっても負けないでこれからも大切に守ってほしい。そう、子どもたちにメッセージを送ってくださいました。

思春期を迎える5年生。友だちとの関わりの中で悩んだり、時には傷ついたり傷つけられたり…。でも、大切にしてほしい、たったひとつの命。



6年 小中連携 十五中の出前授業



6年生にとって、中学への進学が間近に迫り、期待と不安が大きくなる頃です。そんな6年生のために、十五中の先生が来てくださり、英語と数学と理科の出前授業をしてくださいました。初めは緊張気味の子どもたちでしたが、先生方の楽しい授業に引き込まれるように生き生きと学習していました。中学への期待が大いに膨らむ出前授業でした。